

浅井町ふれあいだより



第106号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」

発行日 令和3年10月1日

発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)

ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

【記憶の木を育てる】

一宮市立浅井中小学校 校長 高木 千豊

5月にスティーヴィー・ワンダー氏のエピソードを掲載させていただきました。その後、たくさんの方々から、温かいお言葉や感想をいただき、浅井連区の方々の素敵な心と感性を実感しました。話し手は聞き手に生かされ、書き手は読み手に生かされると言います。素晴らしい読み手により書き手は成長させていただけのではありませんが、読み手が素晴らし過ぎると、書き手には重荷となるばかりです。貴重な紙面をいただきましたので、心を奮い立たせて、赴任後の6ヶ月を振り返りながら書かせていただきます。

国内で初めての感染が出たのは2020年1月。その後、感染者累計が50万人に達したのは約1年3カ月後の今年4月上旬でした。さらに、わずか4カ月で倍増しました。8月7日には新規感染者が過去最多の1万5753人を記録となりました。その間、自粛・自粛・・・と叫ばれ、大人も子どもも我慢の日々を強いられています。先行きが不透明ななかで、今後どうなるのか不安で仕方がないときだからこそ、温かい笑顔があふれる学校をめざして、力を尽くしてきました。笑顔や笑いには、リラックス効果があったり、免疫力を高める効果があったり、その他にもよい効果がたくさんあると言われていています。たとえ作り笑顔だとしても、同じ効果が得られるという報告もあるようです。具体的には、『であい ふれあい わきあいあい』の合言葉が実感できる浅井中小学校の自慢づくりに取り組みました。本校のウェブページにもよく登場するウサギたちです。4月、ウサギ2匹(羽)とのであいがありました。その後、新しい命が誕生し子どもたちとふれあい、ウサギたちは、子どもたちの優しい心を受けながらすくすくと大きく育ちました。一方、ウサギとふれあうなかで、ウサギ小屋周辺には、子どもたちの笑顔があふれました。「心は見えないけれど心遣いに見える」と言うように、本校の子どもたちの優しい心は見えないけれど、優しい心遣いがウサギとして目に見えています。本校のウサギは、自慢すべき子どもたちの心が入っている自慢のウサギです。



人は心の奥に、自分の記憶の木を育てていると思います。生まれたときの記憶はありませんが、潜在意識が根になり、意識の芽ができれば、年を重ねるなかで人が発する言葉や映像が枝葉となり大きく育っていきます。記憶の木からは、時々なつかしい思い出が落ちてくるのです。思い出は、過去の記憶の一片でありながら、将来の自分に生きるエネルギーを与えてくれるものだと思います。コロナ禍であっても本校での生活が、思い出となり常にみずみずしく回顧し、その後の子どもたちの生きるエネルギーになってくれたらと思います。

今後も、子どもたちの温かい笑顔づくりのため、学校でできることはないか考えて実践していきます。学校・家庭・地域が協力し合い、子どもたちのみずみずしい思い出づくりができればと思っています。ご協力をお願いします。

市制 100 周年記念事業

「浅井町の桜を守ろう」

一宮市市制 100 周年記念事業として浅井町にある国指定の名勝・天然記念物である“木曾川堤サクラ”の保護、保全を目的に、浅井町の小中学生に樹種の銘板を作成していただき、市博物館及び地域づくり協議会役員等の指導の下、1 本 1 本にその銘板を取り付けていただきます。10 月 9 日・10 日に銘板の作成、11 月 13 日・14 日に現地下見、そして 12 月 5 日に役員と共に銘板の取付を行います。募集人員は小学生(6 年生)15 名、中学生(1,2 年生)16 名の計 31 名です



浅井町の桜を守ろう

一宮市市制100周年を記念して、小中学生の皆さんに国の名勝と天然記念物に指定されている「木曾川堤サクラ」に銘板(名札)を取り付けていただきます。浅井町内の堤防には、約320本のサクラがありますので一人10本程度の銘板を作り、取り付ける事業です。

皆さんも100周年記念事業に参加しませんか。

主催：浅井町地域づくり協議会
協力：一宮市博物館

いちばん大きい町、一宮
100th
ICHINOMIYA CITY 2021

成人学習講座第3回・第4回開催

8 月 19 日・26 日(木)に成人学習講座が開催されました。両日とも、市の職員による出前講座で 19 日は「中核市一宮」、26 日は「知って安心介護保険」について説明していただきました。両講座とも 1 時間弱の内容でしたので、残り約 1 時間を地域づくりの大野会長に 19 日は「浅井町の防災」、26 日は「食源病」についての講義をしていただきました。



浅井町の文化財・史跡紹介(11)「運善寺」

運善寺は大日比野にある真宗大谷派の寺院です。その山門は明治元年(1868)に犬山城から移されました。城門らしい機能を備え、市内ではめずらしい存在です。明治 24 年濃尾地震で倒壊し、その後改修されましたが、平成 5 年の修理によって当初に近い姿になりました。(市指定文化財) 木造阿弥陀如来立像は童顔、玉眼、均斉のとれた姿態。衣の表現は安阿弥快慶の阿弥陀如来像の伝統を受け継いでいて、鎌倉時代末期の制作と思われます。入信上人座像は鎌倉末期から室町初期の作。入信上人は親鸞聖人の直弟子の一人。像は中心部を一木で彫り、力強い表現がされています。2 像とも、市の文化財に指定されています。



入信上人座像



木造阿弥陀如来像



運善寺山門